



議会だより

いせん

第56号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 (有) 奄美新生社印刷



区間新記録を達成した国島選手 (7区)



区間新記録を達成した義選手 (4区)

# 平成29年度伊仙町駅伝競走大会

(11月12日(日))

喜念浜公園入口～糸木名小学校まで全8区間 (16.6km)

総合順位

第1位 伊仙校区

第2位 犬田布校区

第3位 面縄校区



平成29年 第3回 伊仙町議会定例会 全議案(9月12日~22日 11日間)

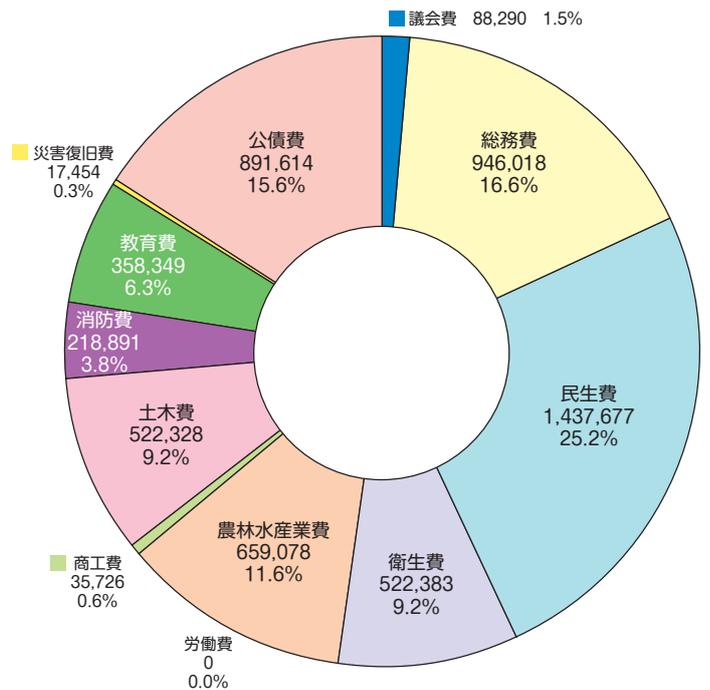
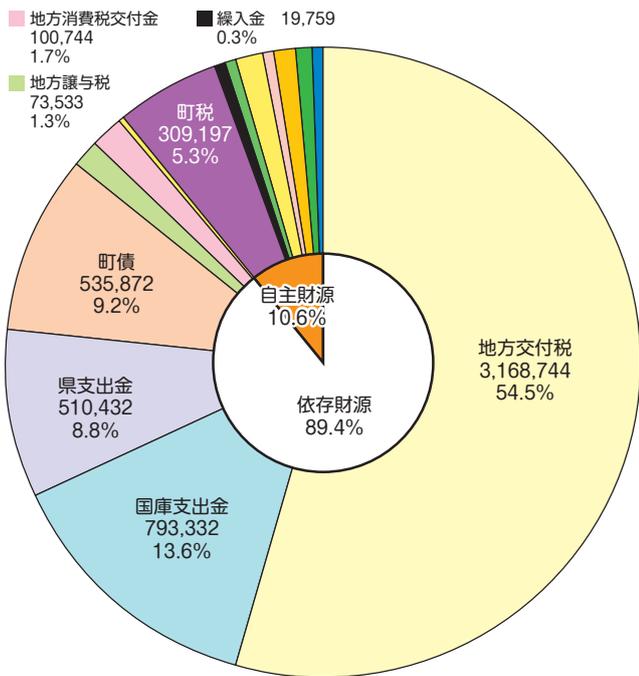
議案番号	議 案 件 名	備 考
承認第11号	平成29年度伊仙町一般会計補正予算(第3号)の専決処分の承認	可 決
報告第3号	平成28年度健全化判断比率	可 決
報告第4号	平成28年度資金不足比率	可 決
議案第34号	伊仙町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第35号	伊仙町肉用牛特別導入事業基金条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第36号	伊仙町農業支援センターの設置及び管理に関する条例の制定	原案可決
議案第37号	平成28年度伊仙町上水道事業会計の利益処分	原案可決
議案第38号	平成29年度伊仙町一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第39号	平成29年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第40号	平成29年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第41号	平成29年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
認定第1号	平成28年度伊仙町一般会計歳入歳出決算	認 定
認定第2号	平成28年度伊仙町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認 定
認定第3号	平成28年度伊仙町介護保険特別会計歳入歳出決算	認 定
認定第4号	平成28年度伊仙町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認 定
認定第5号	平成28年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計歳入歳出決算	認 定
認定第6号	平成28年度伊仙町簡易水道特別会計歳入歳出決算	認 定
認定第7号	平成28年度伊仙町上水道事業会計歳入歳出決算	認 定
(追加議案)		
議案第42号	平成29年度伊仙町一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第43号	平成29年度社会資本整備総合交付金 大久保団地(東伊仙西)新築工事建設本体工事請負契約	可 決
議案第44号	平成29年度防災関連施設整備事業防災行政無線デジタル化工事請負契約	可 決
以下余白		

# 平成28年度一般会計歳入歳出決算

科目別歳入状況 (総額: 5,812,819)      科目別歳出状況 (総額: 5,697,808)

- 自動車取得税交付金 9,044 0.2%
- 利子割交付金 384 0.0%
- 配当割交付金 569 0.0%
- 株式等譲渡所得割交付金 324 0.0%
- 地方特例交付金 218 0.0%
- 交通安全対策特別交付金 1,529 0.0%
- 寄附金 19,155 0.3%
- 財産収入 50,666 0.9%
- 使用料及び手数料 63,384 1.1%
- 分担金及び負担金 41,528 0.7%
- 諸収入 75,831 1.3%
- 繰越金 38,564 0.7%

(単位: 千円)



## 平成28年度一般会計歳入歳出決算対前年比較

(歳入) (歳出) (単位: 千円)

款	平成28年度 決算額 (A)	構成比 %	平成27年度 決算額 Z	構成比 %	比較 (A)-(B)= (C)	伸率 (C)/(B) %	款	平成28年度 決算額 (A)	構成比 %	平成27年度 決算額 Z	構成比 %	比較 (A)-(B)= (C)	伸率 (C)/(B) %
1 町税	309,197	5.3	304,132	5.1	5,065	1.7	1 議会費	88,290	1.5	94,380	1.6	△6,090	△6.5
2 地方譲与税	73,533	1.3	74,395	1.3	△862	△1.2	2 総務費	946,018	16.6	1,326,939	22.7	△380,921	△28.7
3 利子割交付金	228	0.0	453	0.0	△225	△49.7	3 民生費	1,437,677	25.2	1,401,940	24.0	35,737	2.5
4 配当割交付金	569	0.0	902	0.0	△333	△36.9	4 衛生費	522,383	9.2	529,108	9.1	△6,725	△1.3
5 株式等譲渡所得割交付金	324	0.0	918	0.0	△594	△64.7	5 労働費	0	0.0	0	0.0	0	0
6 地方消費税交付金	100,744	1.7	112,052	1.9	△11,308	△10.1	6 農林水産業費	659,078	11.6	500,051	8.6	159,027	31.8
7 自動車取得税交付金	9,044	0.2	7,204	0.1	1,840	25.5	7 商工費	35,726	0.6	69,687	1.2	△33,961	△48.7
8 地方特例交付金	384	0.0	218	0.0	166	76.1	8 土木費	522,328	9.2	285,276	4.9	237,052	83.1
9 地方交付税	3,168,744	54.5	3,141,798	53.0	26,946	0.9	9 消防費	218,891	3.8	185,344	3.2	33,547	18.1
10 交通安全対策特別交付金	1,529	0.0	1,542	0.0	△13	△0.8	10 教育費	358,349	6.3	350,467	6.0	7,882	2.2
11 分担金及び負担金	41,528	0.7	52,718	0.9	△11,190	△21.2	11 災害復旧費	17,454	0.3	215,569	3.7	△198,115	
12 使用料及び手数料	63,384	1.1	56,915	1.0	6,469	11.4	12 公債費	891,614	15.6	880,039	15.1	11,575	1.3
13 国庫支出金	793,332	13.6	709,039	12.0	84,293	11.9	13 諸支出金						
14 県支出金	510,432	8.8	455,940	7.7	54,492	12.0	14 予備費						
15 財産収入	50,666	0.9	26,848	0.5	23,818	88.7							
16 寄附金	19,155	0.3	22,853	0.4	△3,698	△16.2	歳出合計	5,697,808	100.0	5,838,800	100.0	△140,992	△2.4
17 繰入金	19,759	0.3	18,254	0.3	1,505								
18 繰越金	38,564	0.7	31,883	0.5	6,681	21.0							
19 諸収入	75,831	1.3	56,007	0.9	19,824	35.4							
20 町債	535,872	9.2	848,292	14.3	△312,420	△36.8							
歳入合計	5,812,819	100.0	5,922,363	100.0	△109,544	△1.8							

(注)各款ごとの決算額は、決算統計上の分類方法により決算書の額と一致しないものがある。

## 平成29年第3回伊仙町議会定例会において

平成28年度伊仙町一般会計歳入歳出決算他6特別会計歳入歳出予算決算 審査特別委員会  
(一部抜粋※委員長報告につきましては、町ホームページ「会議録」をご確認ください。)

去る、平成29年9月12日に当特別委員会に付託されました「平成28年度伊仙町一般会計他6特別会計歳入歳出決算」は、9月14日木曜日から9月19日火曜日までの6日間、議長並びに議会選出監査委員を除く12名の委員で審査いたしました。その中で9月14日火曜日に現地調査を行いましたので主な項目について報告いたします。

●1件目に「農業支援センター改修事業費」で改修されました、農業支援センターの現状について担当者より施設概要についての説明を受けました。議会として、会議室や農機具等備品の利用規則を整備し効果的な利活用が出来るようにする事、また併せて簡易宿泊施設を整備し島外からの研修生の受け入れが出来るようにする事、センター内には書庫がありますので公民館図書室や町民からの寄贈を受け農業専門書を充実させる事、早期に職員を確保し、実践的・効果的な研修計画策定をする事、町民の利便性を図るために休日も利用できるようにする事、所長に関しては天城町の研修センター所長に兼務の打診をしたり、徳之島高校や試験場等関係機関との連携を図り農業支援の機能強化等を要望いたしました。



●次に「公営住宅建設事業費」にある東伊仙東団地に関して担当者より説明を受けました。概要としては1棟3戸木造平屋建て26坪3DKで10月着工予定で進めているとの事でありました。

議会として、建設予定地南側の隣地も購入し将来的に住宅の増設ができるようにする事、また進入道路については使用に関する協議書を交わしたとの事でしたが、地権者から確約書を交わし、トラブルが無いようにする事、隣接する牛舎横の水たまりになっている土地も購入し排水工事を行い、衛生環境を改善し居住者から苦情が出ないよう要望いたしました。



●次に「東部地区簡易水道増補改良事業費」の、東部浄水場について担当者より施設概要説明を受けました。昭和36年に建設された、喜念浄水場が以前の台風により導水管が破損し、給水出来ない状況になり、更に面縄浄水場も施設の老朽化と頻発する豪雨の影響で原水の濁りがあることから平成27年度より全面的な改修工事を実施し東部ダム下流に急速濾過施設と300トンの貯水槽を整備し面縄浄水場までの送水管を敷設し、今年12月をめどに給水開始する予定との事で、この施設の完成により水質の改善と給水能力の向上が期待できるものでありました。水道水は町民にとって、とりわけ大切なものでありますので今後とも計画的な改修を行い、水質向上及び水の安定供給に努めていただくよう要望いたしました。



●次に「清掃費」徳之島愛ランドクリーンセンターについてであります。担当者の現状説明によりますと、8月17日に故障し10日間ゴミ処理を停止、修繕後、8月28日に再開したところ、今度はコンベアが故障しゴミ処理を停止したとの事でありました。その後9月14日に修理を行い今日現在、順調にゴミの処理を行っているとの事でした。たまったゴミの処理については1か月程度かかるとおもわれ、夜間は午後7時まで稼働させ、休日にも稼働し早期に処理を行うとの事でありました。故障の原因としては稼働以来、15年経過し施設も老朽化しており、通常の点検・保守も実施していますが機械内部など目の届かない部分もあり、対応に苦慮しているとの事でありました。クリーンセンター側からの要望として町民へのゴミ分別の徹底をお願いしたいとの事でありました。

伊仙町議会といたしましては、クリーンセンターが今後も目手久地区において稼働していくのか否か、あるいは、設立当初の約束通り、他町に移転するならば、その移転計画の早急なる実現を町執行部を通じて広域連合議会への働きかけを要望いたしました。

仮に、現在の目手久地区での継続稼働であるならば施設更新に伴う基金等の積立も併せて要望いたしました。



平成29年  
第3回定例会

# 一般質問



美山 保護員

## 各学校の施設整備について

### 問

夏場、冬場の子どもたちの学力向上を図る

為には、各教室が快適な教育環境で勉強ができるように、教育委員会が冷暖房機の設定等について考えるべきではないか。鹿児島県本土では、全ての学校で冷暖

### 財政状況を勘案しながら検討を

房機が設置されていると聞きますが、伊仙町においても率先して子どもたちの教育環境を整える事はできないか問う。

### 答

(教育長) 教育委員会として、児童生徒

### 問

町内すべての学校に設置となると多額の予算

### 計画的に冷暖房機を設置を

の健康管理や学習環境を整える手段として、天井型扇風機を各小中学校に設置してあります。冷暖房設備につきましては、良好な環境設備であるとともに、熱中症対策等に有効な方法ということも十分認識しています。しかし、全ての学校の教室に冷暖房機を設置した場合、設置に係る多額の費用のみならず、電気代や、保守・維持費についても大きな課題となります。今後、児童生徒の良好な環境を整える件に関しては、町の財政状況などを勘案しながら検討していきたいと思

### 答

(教育長) 子どもたちが快適な教育環境

の中で勉学に励んでいただきたいと、そういう強い思いで、創立70周年記念事業を機に冷暖房機を寄贈したいという申し出があったのではないかと、そういう思いをしているところです。先の答弁で、「検討します。」と申しましたが、教育委員会としまして、今回の面縄中学校のように、

### 思いやりの心を大切に

が伴いますので、中学校、小学校と年次計画を立て設置できないか。  
また現在、面縄中学校創立70周年記念式典の計画をしており、卒業生の中には冷暖房機を寄贈したいという声がありますが、どう対応すべきか。そういう方の気持ちを汲み、冷暖房機を設置出来るよう、そしてまた子どもたちの学力向上の為に尽くしてもらいたいと思います。

その卒業生の母校愛、あるいは後輩に対する思いやりの心等、子どもたちに示唆を与える大きな機会になると思いますので、大変ありがたいことであると私も思うっています。

今後、設置された場合には、卒業生のそういった思いやりの心を子どもたちへ様々な機会を通して教えていききたいと考えております。



創立70周年を迎える面縄中学校

**子どもたちの熱中症対策  
や学力向上のために**

**問**

電気代や維持管理費にお金がかかると言っても、子どもたちが教室の中で熱中症にかかる恐れがあることから、冷暖房機を設置し、勉強がしやすい環境づくりとをすることによって学力の向上にも繋がると思いますが、是非要望します。

**今後、子どもたちの健康管理も含めて検討していく**

**答**

(教委総務課長) 電気代や維持管理費がかかってくる事は、はつきりとしていますので、財政が許すのであれば可能ですけれども、今後、学力向上、子どもたちの健康管理も含めて財務の方とも打合せしながら進めて行きたいと思えます。

**16年前の初志と決意について**



美島 盛秀議員

**問**

16年前に出馬を決意して掲げた次の3項目、①町民のやる気が欠如している。②職員採用に多額の現金のやりとりがある。③目にある特定業者との癒着関係。このことをなくさなければならぬと決意。伊仙町にはびこる権力の腐敗構造を一掃しなければならぬ。全国最下位と言われる所得の低迷から抜け出せないと出て出馬表明したが、この初志を貫いたかを問う。

**答**

(町長) ①について、伊仙町長期振興計画「きばらでえ伊仙(平成7年度策定)」について、私が何一つ実現できていないということにしましては事実であれば反省をしています。②について、あくまでも噂の段階でありますので答弁はできません。③について、建設業者だけでなく、町職員、商工会、その他団体等、利益団体において応援して頂いたら色々な要望をしてくる。これを反故にした場合、次の選挙で堂々と反対する。この繰り返しになる。権力の腐敗、癒着というものは政治はある意味では権力闘争に尽きると思います。

**町長選挙について**

**問**

一年前に5期目への出馬表明をしましたが、この一年間の政治活動が常識のある活動だったか。民家近くの道路舗装をやったあがるから、私に協力して下さい、と言ったことはないか問う。また、推薦を受けている建設業者から献金等を受けていないか問う。

**答**

(町長) そのような事柄は、決して言うておりませんし、私は業者の方からの政治献金というものは受けておりません。

**4期16年の実績について**

**問**

公共事業の費用対効果は、長い目で見ないと出てこない、と言っているが、直

売所「百菜」の現状や、特産物販売プロジェクト事業での6次産業化加工品製造販売の件については、町民から信頼を失い、不信感さえ持たれている原因にさえなっているこのことについて問う。

**答**

(経済課長) 「百菜」は年間約1億4千万円売上げておりますが、赤字経営となっており、現在、経営診断を入れ、健全な管理に努めているところですよ。

**企業誘致の日本マルコ株について**

**問**

当初の説明会では日本マルコ株が自社で約8億3千万円で建設の予定であったが、なぜ町の公共工事に変わったのか問う。

**答**

(町長) 県の東京事務所の企業誘致課一緒になっ

て事業を推進したことになつて、今の経緯がございます。

**問**

工事の入札において、指名委員会で決定後に業者を入れ替え町外業者が落札しているが、外部の人物からの圧力はなかったか問う。

**答**

(町長) 私はそのような事は聞いておりません。議長に要望します。この実績について、2時間で質疑応答するのか、議長の判断を諮ります。

**問**

町長が議長にお願いをして、何かやましい事があるんじゃないのか。6月議会でも、そういう事はままある。と副町長が答弁しているが再度問う。

**答**

(副町長) 私はままあると言った事はないんですけども、最初の段階で言ったように、替わることはあると思います。というふうに答弁したつもりでございます。

**地方創生予算について**

**問**

平成28年度から32年度までの5カ年計画(約7億7千万円)の事業ですが、学習支援センター、農業支援センターの予算が減額になった理由を問う。

**答**

(未来創生課長) 地方創生事業の推進交付金を5カ年計画で提出したが、3年間の計画が5年間に見合わなく、3年計画に見直すように総務省からの指示があり、実際には30年度までということになっています。また、学習支援センターについては、企業版ふるさと納税を活用する計画であり、納税を多くするための取り組みをいたしております。

**小規模校の改築について**

**問**

喜念小、鹿浦小、阿権小、馬根小の建設において財政計画はできているのか問う。

**答**

(総務課長) 平成27年度に鹿児島県の市町村課のほうから指導等がありまして、5年間の計画で策定をし、その都度見直していきたいと思っております。

(町長) 国、県から非常に厳しい指導を受けております。今後も様々な課題に対し全力で取り組んでいきたいと思っております。



阿権小学校

**平成29年9月17日実施予定の職員採用試験について**

**問**

町長は以前から、「役場は雇用の場でもある」と言っているが、平成22年〜平成28年度の人件費が年間約10〜11億円かかっており、年間予算の18〜20%で推移している。昨今の非常に厳しい財政状況を鑑みても人件費の圧縮は喫緊の課題であると思われるが、これらを踏まえて、今回の採用試験の出願者数と

**答**

(副町長) 一般職員採用試験の申込みが37名で、採用予定者数については、若干名となっております。現在、142名の職員のうち、6名が出向、6名が産休、育休中で、合計12名が各部署で欠員しています。これらの職員の配置と動向を見ながら、今後、採用予定者数については決定



岡林 剛也議員

してまいりたいと思っ  
ますので、人数につ  
差し控えていただき  
す。また、年齢上限  
上げについては、年  
に必要納付期間が2  
ら10年に短縮され  
定年が60歳とすと  
下でないと25年間  
う受給資格が満たさ  
かったのが、10年  
されたことで、幅広  
をお持ちの方を募集  
という目的で年齢の  
を行ったところでご

**問**

町長は、「人口割に  
ると徳之島町、天城  
と比較しても伊仙町  
数はまだまだ多い状  
る。」と言っていたが  
例改正をして定数を  
考えはあるのか問う。

**答**

(副町長) 各市町村  
「定員適正管理計画  
中改革プラン」とい  
が組まれています。条  
の定数は150名で

すが、伊仙町は定員  
名を努力目標として  
ので、現在は142  
すが、3、4年後に  
140名を目指して  
ているところでご  
す。

(10月27日に1次  
結果が発表され、受  
数36名中32名が  
合格。11月12日  
を実施。12月末結  
定。平成30年4月  
採用予定。)

**平成29年10月22日執行予定の伊仙町長選挙について**

**問**

一般的に多選の弊害  
して、意志決定の  
善化(ワンマン化)、  
政治の横行、職員  
下、議会との癒着  
与党化)、利益団体  
着がありますが、翻  
が伊仙町はどうか  
見解を伺う。

**答**

(町長) 今回、5回  
の町長選挙に挑戦

まいりますが、信頼  
る首長がいれば多選  
継続こそが真理だ  
す。多選の弊害が  
ど列記されています  
れだけの弊害がある  
はありません。しか  
民の一部の方々が  
ているのであれば、  
たちをも説得して  
と考えています。

**問**

多選のメリットとし  
は、国や県との信頼  
係が築かれ、安定的  
据えて長期的な政策  
めるといふもある  
すがに4期もすると  
の職員採用試験に  
そうだが、日常の行  
が事実上の選挙運  
果を持って、それが  
なる結果、公正な  
きなくなり新人は  
ることすら困難に  
があるが、町長は  
するつもりなのか

**答**

(町長) 今は、今  
選挙に当選するこ

頭の中を占めてお  
次に関しては深く  
りません。

**問**

町長職を、後進に  
とか、別の候補者  
てるということを考  
とはないのか問う。

**答**

(町長) 私は、いつ  
でもやるといふ  
ざいませぬ。その  
材を何人か考  
で次の後継者は  
良いかというこ  
えています。



伊仙町役場庁舎

## 伊仙町明るい選挙推進協議会・選挙管理委員会からのお知らせ

○平成30年1月28日（日）は「伊仙町議会議員選挙」の投票日です。

当日の投票所及び時間は、下記のとおりです。

（第1投票所）伊仙小学校体育館 （第2投票所）東公民館 （第3投票所）喜念小学校体育館  
（第4投票所）東阿三生活館 （第5投票所）馬根小学校体育館 （第6投票所）阿権小学校体育館  
（第7投票所）西公民館 （第8投票所）糸木名小学校多目的ホール

※投票は、午前7時00分～午後6時00分までとなっております。

※当日、投票ができない方は、期日前投票をしましょう。

・期日前投票期間：平成30年1月24日（水）～1月27日（土）

・期日前投票時間：午前8時30分～午後8時00分まで

・期日前投票場所：伊仙町役場 選挙管理委員会会議室

※投票する場合は、各世帯に郵送されています入場券を必ずご持参下さい。

**ダメ！**

贈らない。  
求めない。  
受け取らない。

政治家や公職の候補者になろうとする者などは、選挙区内の人に金品を贈ったり、また、それを有権者が受け取ったり、求めたりすることは、**公職選挙法で禁止されています。**



寄付禁止のルールを守って明るい選挙を実現しましょう。



あなたの声が  
地域を変える

町民の

声

インタビュアー  
岡林議員

今回の町民の声は、合計特殊出生率日本一に輝いた伊仙町にふさわしい方をご紹介します。



親子ネットワーク がじゅまるの家理事 前田 美千代さん（43歳 中伊仙在住）

**問.** こんにちは、早速ですが『親子ネットワーク がじゅまるの家』ですが、どのような活動をしているのでしょうか？

声

活動内容としましては、「地域子育て支援事業」、「保育・託児」、「ホームスタート（訪問型子育て支援）」この他にもいろいろ行っておりますが、詳しくはホームページをご覧ください。

**問.** 伊仙町での活動の取り組みを教えてください。

声

- ・出張ひろば（月2回、ほーらい館、児童館）
  - ・病児保育（生後3か月～小学6年生を対象）
  - ・ホームスタート（訪問型子育て支援）
  - ・子育て情報紙『がじゅまる通信』の発行（年3回）
- 現在はこの4つの活動を主に伊仙町では行っています。



がじゅまるの家 ほーらい館

**問.** 伊仙町における子育て支援の現状はどうでしょうか？

声

以前に比べると少しずつではありますが、子育て支援への取り組みが進んできているとは感じられますが、まだまだ十分足りているとはいえない現状だと思います。どちらかといえばハード面（建物・施設）よりもソフト面（ボランティア・人材育成・各種研修・経済的負担軽減）へ支援の充実が望ましいのではないかと考えます。



われんきゃ広場

**問.** 町、議会に対しての要望は何かありますか？

声

伊仙町で現在実施している事業については、地方創生予算を活用しており、今後も継続していきたいと考えていますので、引き続きご支援をお願いしたいと思います。また、町の施設使用料をもう少し安くして頂くと、もっと伊仙町での活動の幅が広がって子育て支援のサポートができると思いますので前向きにご検討をお願い致します。



われんきゃ児童館



## 次の定例会は12月です！！

次の定例会(第4回)は12月12日(火)からを予定しています。

ネット配信も行なっておりますが、ぜひ、生の議会を傍聴してみませんか。

手続きは簡単で、議会の当日に傍聴席入り口の受付名簿に、住所、氏名を記入していただくだけです。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

電話番号86-3111(内線16番)

### 議会の動き

平成29年第3回伊仙町議会定例会における諸般の報告(議長の動静)  
動静期間:平成29年第2回定例会(6月15日)以降の分

月	日	行事名	場所
6月	15日	日本マルコ社長との意見交換	議会委員会室
	16日	徳之島3ヵ町議会議員連絡協議会ボランティア作業	天城町B&G
	23日	徳之島3ヵ町議会議員連絡協議会役員会事前打合せ	徳之島町
	18日	関東伊仙町会総会	東京
	25日	トライアスロン大会	天城町
	26日	徳之島コーヒー支援プロジェクト	ほーらい館
7月	3日	水土里サークル活動伊仙町広域協定締結式	ほーらい館
	4日	正副議長研修会	鹿児島市
	8日~9日	大島地区大会	伊仙町
	9日	西郷南洲記念講演会	天城町
	12日	日本マルコ社長との意見交換	議会委員会室
	14日	関西徳州会歓迎	中央公民館
	15日	関西徳州会伊仙町役員交流会	伊仙町
	19日	徳之島3ヵ町議会議員連絡協議会役員会	徳之島町
	20日	鹿児島県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	鹿児島市
	24日	国境離島を考える会	天城町
	28日	夏植え出発式	ほーらい館
	29日	あなたのそばで県議会	徳之島町

月	日	行事名	場所
7月	30日	伊仙町ほーらい祭	面縄港
	31日	鹿児島県後期高齢者医療広域連合臨時議会	鹿児島市
8月	1日	奄美群島さとうきび価格対策協議会総会	奄美市
	3日	県庁要望活動	鹿児島市
		市町村政研修会	鹿児島市
	8日	鹿児島国体実行委員会	鹿児島市
	10日	議会運営協議会	議会委員会室
	19日	金婚式	ほーらい館
	20日	全島一斉ボランティア清掃	町内
	27日	ほーらい祭り全島相撲大会	伊仙町相撲場
		徳之島民謡大会	ほーらい館
	28日	8月全員協議会	議会委員会室
	29日	奄美やんばる広域圏交流推進協議会	和泊町
31日	NHK大河ドラマ西郷どんロケ誘致協議会	天城町	
	JAあまみ徳之島地区野菜部会	徳之島町	
9月	1日	平成29年第3回定例会告示	
	6日	議会運営委員会	議会委員会室
	12日	平成29年第3回定例会開会	議事堂

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

### 編集後記

月日の流れは速いもので今年もまた師走を迎え、平成29年が終わるつとしております。年4回発行しているこの「議会だより」も、現在の議員の任期中最後の発行となります。この4年間の議会活動に対する叱咤激励、ご理解とご協力、「議会だより」に対する指摘や助言、要望等々、数多くの気づきを頂きましたことに対し改めて感謝申し上げます。

さて、平成30年からは奄美群島全体に大きな追い風が吹くだろうと言われております。

まず、年明け早々から始まるNHK大河ドラマ「西郷どん」の放映。来夏頃に決定されるだろうと言われているユネスコによる「世界自然遺産登録」。この2つの大きな目玉があるからであります。そしてこれらと前後して格安航空路線の就航、定期便のジェット化、豪華客船の寄港等々、帰省や観光、仕事での各島々へのアクセス環境が大きく改善され、来島者が格段に増加するものだと思われているからであります。

この大きな追い風を数年間で終わるような一過性のものにせず、永続的な仕組みにまで仕上げなければなりません。この仕組みづくりの中心を担うのは町長はじめ執行部の皆さんであります。我々議会や町民の皆さんも絶えずその動向を注視し、支援をしながらも時にはブレーキを踏んだり、あるいは変更をさせたりしなければなりません。そういった意味でも町民の皆さんと議会は、絶えず町の動向に関心をもち、10年後、20年後にも豊かで暮らしやすい伊仙町であるにはどうしたらいいのだろうか?という議論を頻繁に行っていきたいものであります。

来年1月には議会議員選挙が行われ、新たな議員構成になると思われませんが、伊仙町の更なる発展のため、議会に対する意見や要望を引き続きお願い申し上げますとともに、中長期的な様々なテーマでの議論に数多くの町民の皆様に参加いただけたこともお願い申し上げます。

(文責 福留 達也)

#### 議会広報編集委員会

委員長 牧 徳久  
副委員長 岡林 剛也  
委員 福留 達也  
委員 平 博一  
委員 永岡 良一